

## 【4月まとめ】

前年の3月上旬は気温が低く寒い日が続いたが、中旬以降気温が上がって桜開花宣言も早くなった。本年も例年に比べて気温が高めに推移、ひな祭り頃には降雨や冷え込みがあったものの、朝晩で寒暖の差があり日中の気温は15度前後（暖かい日は20度近く）になった。東京の桜開花は3月21日（前年より4日遅く、平年より5日早い）、27日には満開を迎えた。3月のいちご類は出荷数量が伸び悩み、ひな祭り後も引合いが強く、中旬まで堅調な相場を維持した。みかん類はJAみっかびの出荷が一段落して供給量が減少し、個選物の引合いも強くなる。「アールス」は品質の安定性に欠け、下等級品の出荷が多く見られた。りんご類は小玉傾向で下等級中心の出荷が続いたために荷動きは鈍かった。また、春の陽気となっているため西瓜類の生育が順調で例年より早い出荷となった。

4月の天候は例年より気温の高い日が多くなる予報となっており、各品目ともに前進出荷は続くと思われる。販売の中心はいちご類・りんご類で、品種バラエティに富む柑橘類の入荷量は前年に比べ少なくなる。果菜類において大玉すいかは生育が順調で出荷量が徐々に増え下旬において1回目のピークを迎える、メロン類は中旬より「アンデス」の出荷量が増え、下旬には「クインシー」の出荷が始まる。みかん類は貯蔵品がほぼ終了、中旬からはハウスみかんが始まる。晩柑類も徐々に小玉中心に荷動きが出てくると思われるが、前進出荷で月後半には減ってくる。いちご類もシーズン終盤、気温の上昇にともなうイタミの発生が気になる。りんご類は「サンふじ」中心に不足感無い出回りが続く。果実全体では入荷は前年より若干多め、価格は前年並みを見込む。

## 4月主要品目単価見通し

（状況は2019年3月20日現在）

○強い ○#強保合 #保合 △#弱保合 △弱い 単位:円/kg  
※価格は東京青果扱い/等階級込み（消費税込み）

果実総体	3月	4月市況推移			月平均 予想単価	前年対比
	下旬単価	上旬	中旬	下旬		
	625	#	△#	#	550	
(前年価格)	613	582	531	515	545	101%

  

品目	3月	4月市況推移			月平均 予想単価	前年対比
	下旬単価	上旬	中旬	下旬		
みかん類						
ハウスみかん	-	-	2,650	△#	2,400	101%
(前年価格)	-	-	2,642	2,247	2,367	
かんきつ類						
甘夏柑	195	#	○#	○#	200	99%
(前年価格)	205	194	205	206	202	
八朔	260	#	#	-	260	100%
(前年価格)	206	248	265	289	259	
不知火	400	#	○#	○#	430	101%
(前年価格)	388	409	425	452	425	
清見	305	#	#	#	305	94%
(前年価格)	325	329	319	329	324	
りんご類						
ふじ	270	#	#	#	270	74%
(前年価格)	350	357	365	372	364	
いちご類						
とちおとめ	1,180	△#	#	#	1,050	101%
(前年価格)	1,119	1,086	1,021	995	1,039	
あまおう	1,350	△#	△#	#	1,130	98%
(前年価格)	1,408	1,232	1,070	1,084	1,159	
さがほのか	1,270	△#	△#	#	1,050	95%
(前年価格)	1,252	1,152	1,037	1,091	1,104	
紅ほっぺ	1,230	△#	△#	#	1,100	96%
(前年価格)	1,292	1,198	1,112	1,125	1,150	
メロン類						
アールスメロン	1,500	△#	△#	#	1,250	104%
(前年価格)	1,488	1,220	1,248	1,116	1,197	
アンデスメロン	850	△#	△#	△#	650	92%
(前年価格)	857	820	739	649	707	
クインシーメロン	-	-	850	△#	700	95%
(前年価格)	-	911	825	712	734	
西瓜類						
西瓜	320	#	#	#	320	95%
(前年価格)	325	336	332	343	339	
こだま西瓜	620	△#	△#	△#	500	97%
(前年価格)	615	561	512	492	514	

品目	3月	4月市況推移			月平均 予想単価	前年対比
	下旬単価	上旬	中旬	下旬		
その他果実						
びわ	3,000	△#	△#	#	2,150	93%
(前年価格)	3,752	2,786	2,357	2,109	2,324	
おうとう	10,000	#	△#	△#	8,000	99%
(前年価格)	10,241	9,997	8,622	7,102	8,098	
マンゴー	4,500	△#	#	#	4,300	87%
(前年価格)	6,620	5,874	5,498	4,285	4,961	
キウイ	530	○#	#	-	500	111%
(前年価格)	473	464	446	411	451	

★主産県の欄に取り扱い事業部名を記載してあります。

## ハウスみかん情報

販売見通し	4月半ばから大分・愛知産の超早期栽培物の入荷が始まる。各地共に栽培面積はほぼ前年並みを維持、無理な早出しはせず需要期となる6～8月に照準を合わせた作型となっている。そのため、出始めとなる4月は数量も限定的であり、本格化してくるのは5月以降。内容・品質が安定しているハウスみかんへの信頼は篤く、価格は前年並みのスタートとなる。	
主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
大分(50%) 4部	大分県	例年通り4月半ば(11日頃)から販売開始予定。全体の面積は微減(前年比95%)となっているものの、4・5月は前年並みの数量あり、7・8月出荷部分が少なくなるだろう。出荷形態は350g(S)・270g(2S)パック、5kg定数詰めトレー(M以上)で、1.2kg化粧箱もあり。
愛知(50%) 3部	蒲郡市 ほか	例年通り4月半ば過ぎ(3月中旬時点では18日)販売開始予定。栽培面積はほぼ前年並みだが、出始めとなる4月から5月にかけての出荷量は前年を下回る見込み。4月中はSサイズ中心で、1.2kg箱での出荷。数量まとめり次第ではあるが、5月連休明け頃より5kg箱となる。

部署名	電話番号
果実第1事業部	03-5492-2050
果実第2事業部	03-5492-2065
果実第3事業部	03-5492-2080
果実第4事業部	03-5492-2095

★主産県の欄に取り扱い事業部名を記載してあります。

本資料の無断転載はご遠慮下さい。

記載内容の文責は営業管理部情報課（電話番号：03-5492-2041）

## かんきつ類情報

販売見通し	30年度産かんきつ類の生育は順調であり、出荷量は多く、また着色も良いため前年に比べて1週間は出回りも早くなっている。4月は「不知火」「清見」に加え、「甘夏柑」「カラ」「河内晩柑」などが入荷。「不知火」「清見」も4月の出荷量は前年に比べ少ない。5月にかけて出回る「甘夏」「サンフルーツ」なども前年に比べれば少ない。
-------	--

### ◎甘夏柑

主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
愛媛 (39%) 3部	えひめ南 (マルエム) ほか	全体出荷量は少ない。玉流れはL>2L=Mサイズとなり、Mの出荷は4月中旬頃から始まる、出荷は連休前後で終了となる見込み。
熊本 (32%) 4部	あしきた 田の浦 柑橘	前年と比べて前進気味の出荷が続いてはいるが、計画通り。4月の出荷も4月中旬頃から貯蔵物の出荷が始まるが、本年は体質が若干弱くなっているため早く終了になる可能性がある。
鹿児島 (19%) 4部	鹿児島 いずみ	順調な出荷が続く、4月中・下旬でレギュラー販売は終了となる。下旬からは貯蔵物の出荷が始まり、前年と同じ出荷量で5月下旬まで販売を行なう。
三重 (5%) 4部	三重 南紀 尾呂志	【三重南紀】販売は始まっていて順調な出荷となっている、中心はLで週2回の販売で4月中旬までとなる。 【尾呂志】初荷は前年と変わりなく4月22日を予定している、肥大状況は若干弱くL中心の小玉傾向となる、販売は週3回で5月下旬まで販売を行なう予定。

### ◎八朔

主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
和歌山 (100%) 4部	紀の里 ありだ 紀南 ほか	作柄良好。3月中旬の出荷量は前年並みで、下旬においても横ばいの出荷。4月1日からJA紀州ゆら選果場から「さつき八朔」の販売が始まる。前年より多く一昨年並みの出荷。中心はL・Mサイズで4月22日の販売で終了。

## 不知火情報

販売見通し	本年は前進出荷となっており、前年同時期より出回り量が多い状況が続いている。4月上旬までは順調な出荷が続く、引合いも変わらないと思われるが、中旬以降は貯蔵物が主体となり自然と相場が上昇する可能性があるため注意が必要。	
主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
熊本 (27%) 4部	熊本 果実連	順調な出荷が続いてはいるが下等級の出荷が多くなっている。4月15日より冷蔵物の出荷が始まり、隔日出荷で1回の販売量は2,500ケース前後。18玉・20玉中心の出荷が続くが前年に比べ1割少ない出荷量になる。
愛媛 (37%) 3部	えひめ 中央 ほか	前進出荷によって露地物は終盤戦に入る。4月に入ってすぐに冷蔵品の出荷スタートとなる。荷量は前年にくらべ若干少なくなるが食味は良い。
長崎 (18%) 3部	長崎 せいひ	天候が良く気温が高いため前進出荷になっているが、本年は品質が弱いためロス率が高く出荷量は前年より少ない。そのため4月上旬が多く、月末に向って減少していく。
佐賀 (10%) 3部	唐津	4月に入って無加温ハウス物から貯蔵物の販売へと切替わる。2L>Lサイズの流れになり、1回の出荷量は1,000~1,500ケースになる。
愛知 (2%) 3部	蒲郡	4月1日から販売が始まり、前年並みの出荷量となる。中心は10玉・12玉(3kg)で4月の販売は8回。そのうち前半4回の販売は多く、後半は少なくなる。酸切れ良く糖度もあるため食味は良い。
鹿児島 (-%) 4部	鹿児島 いずみ	「大将季」の出荷は終わり、「デコボン」の出荷に切替わる。前進出荷されており、4月下旬で終了となる。

## 清見情報

販売見通し	本年は前進出荷となっている。4月の販売量は前年に比べ多いが、小玉傾向となっている。和歌山産は4月中・下旬で販売が終了となり、その後は愛媛産冷蔵物の販売となる。	
主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
愛媛 (72%) 3部	西宇和 ほか	前進出荷によって前年より多い出荷となっている。中心はLサイズで2L>Mと続き食味は良い。4月下旬までレギュラー販売を行ない、その後冷蔵品を5月中旬まで販売をする。
和歌山 (14%) 4部	ありだ	出荷は順調に推移し4月20日頃で販売終了。出荷量は前年比150%と多く、小玉傾向 (Mサイズ中心)。糖度高く食味はととも良い。

### ◎河内晩柑

主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
愛媛 (78%) 3部	えひめ南 (マルエム) ほか	出荷は10kg・7kg箱で販売の中心は7kg (22玉)と10kg (Sサイズ)になる。販売は週2回で6月上旬まで行なう予定。
熊本 (22%) 4部	本渡五和 あまくさ ほか	前進出荷のため3月の販売量が多くなっている。4月上旬まではまとまった出荷量があるが、中旬以降は減少傾向に入る。

### ◎その他柑橘

品種名	県名	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
カラ	和歌山	ありだ・紀州・紀南	4月4日が初荷となり、販売は週2回 (月・木)で4月いっぱい販売。出荷量は前年に比べて多くなり、ありだ・紀州・紀南ともにM中心 (小玉傾向) L>Sとなる。
	三重	三重 南紀	本年は前年より1週間早い3月26日より販売が始まり週2回 (火・金) の販売。ピークは3月末から4月上旬で、出荷量は前年に比べ若干多くなる。Lサイズ中心の2Lの出荷となる。4月下旬には終了。
セミノール	大分	おおいた	4月8日から販売が始まる。1月・2月の天候は良かったがヤケ果の発生が見られ下等級品の出荷が多くなる。出荷ピークは4月20日頃からとなり5月中旬まで販売を行なう。
	愛知	蒲郡	前進出荷傾向。体質の弱さから3月の販売量が多くなり、4月に入るとの販売は少なく4月15日前後で販売終了になりそう。中心はL>2Lで週2回の販売、食味は酸切れが良く食べやすい。
	和歌山	ありだ	4月4日が初荷となるが、2回目の販売までは間が開いてしまう。出荷量は前年並みでピークは4月中・下旬、4月末で販売終了となる。
	三重	三重 南紀	4月8日より始まって、5月上旬までの販売となる。出荷量は前年並みだが小玉傾向M・Lの流れ、販売は月・木の週2回となる。 出荷は3月末からで出荷前半はL・2L中心の出荷になるが出荷後半は2L・3Lと大きくなる、出荷量は微増で4月上旬がピークになり4月下旬で販売終了となる。

## ◎その他柑橘

品種名	県名	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
日向夏	宮崎	綾町 宮崎中央	ハウス物は3月いっぱい終了予定だが、出荷量は伸びていない。4月に入ってから露地物の販売になる。玉肥大は弱くM・L中心と小玉傾向。ピークはなくダラダラ出荷となり、中旬以降減少傾向となつて5月初旬で販売終了となる。
ニューサマー	愛媛	西宇和 (三瓶)	販売開始は4月15日頃と前年と変わりはなく出荷量も同じと見ている。中心はL>2Lとなりピークは4月末から連休期間中となる見込み。
ブラッドオレンジ (タロッコ)	愛媛	えひめ南 西宇和 (真穴)	3月中旬より販売は始まっていて出荷にはピークはなくダラダラ出荷になる。中心はL・2Lとなり出荷量は自然量増で前年の1.5倍となる。販売は4月いっぱい計画している。
南津海	和歌山	県農 和歌山	販売は3月25日から始まり4月11日で販売終了。出荷量は前年より多くなるが一昨年よりは少なくM中心>S、小玉中心の出荷。
	愛媛	西宇和 えひめ南	販売期間は短く4月中旬から4月末まで。出荷の中心は2L・Lとなり前年より出荷量は若干多い。
	広島	三原 (せとだ)	生育順調で4月15日頃から出荷が始まり、前年比95%の出荷量を見込んでいる。玉肥大は弱く小玉傾向となり4月の販売は3~4回、後は5月に入ってから販売。
	大分	おおいた	販売は4月1日から月末までとなる。出荷ピークは10日頃から1週間前年比110%と若干多い出荷量で中心はL>2L、週2回(月・木)の販売。
レモン	広島	三原 (せとだ) 広島 ゆたか	貯蔵への流れのため4月の販売は3回となり1回の販売量は50~100ケースになる。中心サイズはM・Lで同じくらいの出荷になる。
	愛媛	えひめ 中央	本年も前年同様出荷量は少なく4月の販売は中旬に1回で終了となる。

## りんご類情報

販売見通し	青森産の貯蔵品のみのお回り。30年産りんごは台風襲来などの天災によるキズ果・スレ果や着色がいまひとつなものなどが多く、年明けから販売苦戦が続いている。「サンふじ」の貯蔵量は前年を上回っており、積極的な売り込みも展開されているものの、下等級品が多いために全体平均単価は低迷中。品質面の懸念から少しずつ有袋ふじの取り扱いを始めるところもあるが、数量的には微々たるもの。「王林」「ジョナゴールド」は前年よりも少なく、限定的な販売で価格も安定。有袋ふじは生産量が減っており、前年並みの価格を見込む。
-------	---

## ◎サンふじ

主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
青森 (100%) 1部	津軽 みらい つがる 弘前 ほか	『サンふじ』の貯蔵量は前年より多い。2月までの出荷量は前年比で1割ほど多くなっており、3月以降の販売計画も前年を大きく上回る。これは過去5年間で見ても多いが、小玉果や着色が薄めなものなど、下等級品の比率が高めであり、品質の良い物は少ない。4月半ばから少しずつ『有袋ふじ』も顔見せし始めるが、数量的には僅かであり、4月いっぱいサンふじ主体のお回り。有袋ふじの生産量は年々減少しており、少なかった前年をさらに下回る貯蔵量となっている。

## ◎ジョナゴールド

主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
青森 (100%) 1部	つがる 弘前 津軽 みらい ほか	サンジョナは3月で終了となり、4月からは有袋品のみ販売となる。3月以降の出荷計画量は前年の85%、過去5ヶ年の中でも最も少ない。6月まで品質を見ながら平準ペースでの出荷が続く。

## ◎王林

主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
青森 (100%) 1部	津軽 みらい つがる 弘前 ほか	天候不良や病害の影響により、生産量が少なく、2月末時点での産地在庫量は前年の77%と平年に比べても大幅に少ない。5月まで平準ペースでの出荷が続く。

## びわ情報

販売見通し	4月は長崎産のハウス物中心に千葉産のお回りも始まる。当初早めの生育を見込んでいた長崎産ハウス物は、3月の出荷量が意外と増えなかったが、冷え込みで数量伸び悩んだ前年よりは多かった。4月上旬にかけても価格は下げ基調となるが、早めに売込みをかけたやすい価格に落ち着くことで徐々に荷動きも出てくるだろう。5月以降の露地物についても現状は霜害などもなく豊作基調が見込まれており、ハウス物が出回りのピークを迎える4月中旬から積極的な販売が展開されよう。	
主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
長崎 (89%) 3部	長崎西彼 ほか	〔ハウス〕各産地出揃ってきたが、まだ隔日販売であり、日々の入荷量は増減が大きい。当初は例年より早めの生育ペースを見込んでいたが、3月中は増えてこなかった。生育は順調なので4月中旬から下旬にかけてピークを迎えよう。 〔露地〕現時点では寒波による害も無く、豊作基調。早い産地では4月末から出荷開始となる見込み。
千葉 (8%) 3部	安房	〔ハウス〕4月上旬(8日頃)から販売開始予定。豊作傾向であり、前年並みの数量はある見込み。4月下旬から5月上・中旬にかけてピークとなる。化粧箱中心となるが、一部パックもあり。 〔露地〕現時点では順調な生育。

## おうとう情報

販売見直し	山形産・長野産のハウス物が3月から出荷開始となっており、4月になれば山梨産も始まる。暖冬傾向で加温開始が遅れたために、出始めの数量は少なめであるが、4月中旬には各産地出揃って数量まとまってきて、5月の『母の日』にかけて潤沢な出回りとなる見込み。4月中は販売先が果専門店や高級スーパーに限定されており、例年並みの価格で安定推移しよう。	
主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
山形 (91%) 1部	さがえ 西村山 みちのく 村山 ほか	高齢化などにより、ハウスおうとうの栽培者数および栽培面積は前年より減少。11月～12月上旬にかけて気温が高めに推移したために加温開始は前年よりも遅れたが、満開までの日数は前年並み。園地間でバラつきが見られるものの、着果量はあり、病害虫の発生も無く生育は順調。3月中旬からJAさがえ西村山の早い生産者の出荷が始まっており、4月中旬には各産地が出揃ってくる見込み。ハウスおうとうの出荷ピークは5月上旬～中旬にかけて。荷姿は300g化粧箱と100gダイヤパック。
長野 (6%) 1部	中野市 信州 うえだ ほか	前年より1週間ほど遅い3月下旬(25日頃)から京浜市場での販売開始予定。ここ数年、他品目(主にシャインマスカット)への改植や生産者高齢化の影響もあって栽培面積の減少が続いており、栽培面積・生産量ともに前年の8割程度。4月中～下旬に出荷する部分が減っているので4月の出回り量は前年を下回るが、5月連休明けから出荷本格化して『母の日』向けの数量は前年並みとなる見込み。荷姿は300g化粧箱とハート箱、100gダイヤパック。品種は「佐藤錦」「高砂」から始まり、5月になれば「紅秀峰」も。
山梨 (2%) 1部	南アルプス市 ほか	ハウス物の生育は遅れ気味(暖冬の影響により、低温積算温度の積算が遅く、それに伴ってハウスの加温開始時期が遅れた)。前年より遅い4月15日頃より西野の個選桐箱(500g)が始まる見込み。4月下旬から農協の共選物も出てくる。生産計画量は前年の9割。露地物の生育は早め。暖冬の影響により、低温積算温度の積算が遅く、それに伴ってハウスの加温開始時期が遅れた。露地物は5月下旬から。

## ◎ハウスぶどう

主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
山梨 (100%) 1・2部	ハウス ブドウ 統一共選	本年も前年同様に生育は順調。「ハウスGデラ」の出荷は4月中旬で例年と変わらないスタートとなる。大房(黒系)の出荷も中・下旬からと例年と変わらない。

## ◎もも

主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
山梨 (100%) 1・2部	フルーツ 山梨 ふえふき	本年の加温開始は前年より遅く2週間遅れの生育であったが年明けから気温が高い状況が続く現段階では1週間遅れの生育になっている。現状の天候が続けば4月中旬には初出荷を迎え、連休から出荷ピークに入る。露地ももの開花時期は4月5日頃を見込み前年より若干早い出荷になる可能性がある。

## いちご類情報

販売見直し	3月全般では日々の寒暖差があったが、天候には恵まれ日照量もあった。そのため出荷量の大きな落ち込みはなく、ほぼ横ばいの出荷量で推移した。相場もお彼岸(3月21日)まで保合いとなったが、3月末から4月に入って出荷量は若干増えてくることから荷動きもやや鈍くなると思われる。
-------	---

## ◎とちおとめ

主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
栃木 (90%) 2部	かみつが はが野 ほか	3月の出荷量は伸び悩んで多くはなかった。3月下旬より出荷量が徐々に増え4月上旬から中旬に向け出荷ピークに入る。大玉・小玉とも潤沢にあり、並べ物の出荷少なくなりコンテナ出荷Gが増えてくる。下旬には4果房5果房の出荷が連続となり連休は連日の対応となる。
茨城 (7%) 2部	北つくば 茨城旭村 ほか	3月の天候が良く前進出荷となっている。4月上旬にかけて出荷のピークとなる。4月中旬以降は気温高への対応で品質重視の選果になるため出荷量が一時的に減少。気温が高く収穫が間に合わなく品質低下が続くようだと大幅に減少となる。

## ◎あまおう情報

主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
福岡 (100%) 1部	福岡大城 ふくおか 八女 南筑後 ほか	3月下旬から4月上旬にかけて3果房の出荷ピークに入る。その後はダラダラ出荷が続くが気温が高くなるので品質を重視した選果となり、出荷量は徐々に減少傾向に入る。

## ◎さがほのか情報

主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
佐賀 (92%) 2部	さが 唐津 ほか	3月はピークらしいピークはなくダラダラ出荷になった。4月に入って4果房の出荷が始まるがこのままダラダラペースが続く。気温上昇にともない体質の弱いものやイタミ果の発生により販売量は少なくなる可能性がある。

## ◎紅ほっぺ情報

主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
静岡 (98%) 1部	遠州夢咲 伊豆の国 ほか	3月下旬から3果房の終盤に入り4果房の出荷が始まる。4月中旬からはピークに入り連休からは若干減少傾向に入る。

## ◎その他いちご

品種名	県名	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
スカイベリー	栃木	全農 とちぎ	3月中旬は3果房の出荷が中盤に入り、前年に比べ玉落ちが激しくなっている。3月末から4月上旬の出荷量は横ばいが続き中旬以降から増量傾向に入り5月大型連休はダラダラ出荷となる。
きらび香	静岡	静岡 経済連	4月に入ると4果房の出荷が始まるが上旬はイタミ果対策のため、より早期収穫となる可能性がある。収穫が落ち着き安定すれば平均出荷が続く見込み。
やよいひめ	群馬	多野藤岡 ほか	3月下旬から3果房の出荷ピークに入り4果房も連続しているため、4月上旬も引続き出荷ピークとなる。レギュラーパック3L・2Aの出荷が多くなり、下旬からは減少に転じて連休明け1週間後は極端に少なくなる可能性がある。

## メロン類情報

販売見直し	3月下旬から熊本県産春メロンの出荷が始まる。前年は年明けからの冷え込みで生育遅れも見られたが、今年は順調なスタートとなる。中心品種となる「アンデス」も4月半ばには数量まとまってくる。近在産地茨城産の「オトメ」も3月末には販売開始となり、4月の出荷量は前年よりも多くなる見込み。3月半ば時点では熊本産抑制作の切上がりが早かったために価格高となっているが、4月に入れば前年並みに落ち着いてこよう。アールスメロンは前年を下回る入荷が続ぎ、しっかりとした価格を維持。
-------	---

### ◎アンデスメロン

主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
熊本 (87%) 4部	熊本宇城 熊本市 球磨地域 ほか	JA熊本市の抑制物は3月中旬で終了。一旦熊本産アンデスの入荷は途切れ、3月下旬(23日頃)からJA熊本うきの春メロンが始まる。JA熊本市の春メロンは4月上旬から。全体に生産減少が続いている。前年は生育遅れ気味であったが、今年は平年作であり、前年よりは増量ペース早め。中心サイズはL A・2L。4月半ばから数量まとまってきた。

### ◎その他メロン

品種名	県名	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
クインシー	熊本	熊本宇城 熊本市	今後の天候次第で多少前後はするが、4月半ばからJA熊本うきの入荷開始となり、下旬には熊本市も始まる見込み。5月連休にかけて出荷のピークとなる。
オトメ	茨城	茨城 旭村 水戸 (ひぬま) ほか	作付面積は前年より若干減ってはいるものの、ほぼ前年並みを維持。朝晩の寒暖差があり、上に徒長気味であったが、その後の曇天もあって落ち着いてきた。当初は10日程度生育前進していたが、出荷開始時期としては5日遅れ程度に。2月下旬に曇雨天が続いたために5月連休前後の出荷にバラつきが出る可能性もあるが、この部分は作付も多いため大きな影響は無いだろう。オトメのピークは4月中旬から下旬にかけて。アンデス・クインシーも4月下旬には出荷開始となる見込み。出始めは小玉果の発生も多いが、最盛期には2L・3Lサイズ中心となるように栽培している。

### アールスメロン情報

販売見直し	3月最終週は引合いが弱く相場は下がる。4月上旬の出荷量は少なく下等級品の出荷も多くなる。全体に品質が上がり出荷量が増えて来るのは4月下旬からとなるが4月全体量は前年と比べ少ない。	
主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
静岡 (57%) 4部	クラウン 支所 メロックス 静岡 ほか	3月後半の天候の影響から作柄は悪く出荷数量は前年より少なくなるが日々日照量が多くなり品質は安定し良くなる。中心は6玉8kg・9kgとなる
熊本 (14%) 4部	熊本市 ほか	生産面積は前年と変わらないが4月上旬は少なく、下旬に向かって増え前年並みの出荷量となる見込み。連休対応は1~2回を予定している。
高知 (11%) 4部	高知県	4月上旬から出荷量は増えるが下等級の出荷量は多くなり下旬に向かって品質が上がってくる。中心は6玉、9kgとなる。

## すいか類情報

販売見直し	生育が順調で3月の出荷量は前年を上回り、特にこだま西瓜の出荷量は前年の1.5倍になっている。4月は2月の曇天の影響で中旬にかけて出荷量伸び悩みが前年より若干少なくなる程度で、月間では前年より多い見込み。前年の4月は天候が良く非常に引合いが強かった。今年も平年より気温が高く降水量も少ない予報となっているため引合いは強いが、前年の価格は下回る見込み。
-------	--

### ◎西瓜 (大玉)

主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
熊本 (100%) 2部	熊本 益城	天候が良く前進出荷となり、前年比130%の出荷となっている。中心サイズはM(2玉)、中旬以降はM・L、下旬からはLが増えてくる。4月は前年と比べ出荷は多いものの、本当のピークは5月中旬からとなる。

### ◎こだま西瓜

主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
茨城 (60%) 2部	北つくば	前進出荷で出荷量は多いものの気温・天候が良かったため販売は順調。4月の販売は前進出荷が続いたために、前年比からして1割少ない、中心はL(5玉) > 2L(4玉) > M(6玉)となり、連休対応は2~3回計画をしている。
熊本 (14%) 2部	熊本 熊本市	今年の生産面積は前年比90%と少ないが、2L(4玉)中心で出荷量は前年並み。4月上・中旬からピークに入る。黒小玉すいかは5月10日頃から販売が始まる。
群馬 (17%) 2部	太田市 (藪塚)	3月は前進出荷が続き多い出荷の日もあれば少ない出荷の日もあった。全体出荷量は前年並みに推移している。4月上旬は肥大状況も良く5・4玉中心となりダラダラ出荷が続き中・下旬は多くなる。

## キウイ情報

販売見直し	国産キウイはシーズン終盤で愛媛・福岡・和歌山は4月上旬まで、大分は4月中旬(15日頃)まで販売あり。もともと生産量も少なく、2月以降順調な販売が続いてきたことで、4月の残量はわずか。ニュージーランド産はゴールド系品種「サンゴールド」が中旬から販売開始となる。収穫作業好調で初入荷から数量まとまる見込み。国産からの切り替えもスムーズであろう。
-------	--

主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
愛媛 (20%) 3部	えひめ 中央	JA愛媛たいきは3月いっぱい終了となり、4月はJAえひめ中央が数回入荷するのみ。もともと生産量も少なく、4月上旬までの販売。小玉傾向でM33玉・S36玉。
福岡 (45%) 4部	福岡 八女	4月の販売は2回、8日売りで終了となる。3月の時点で8割方の出荷が終了となっており、残量はわずか。
ニュージーランド	ゼスプリ	2019年産は作柄良く、前年同様に豊作傾向。4月半ば(15日頃)からゴールド系品種の「サンゴールド」の入荷が始まる。4月中は「サンゴールド」のみで、グリーン系品種は5月連休明け(中旬)から出荷開始となる。大玉傾向だった前年と比べれば一回り小ぶり、で、「サンゴールド」は25・27玉中心、グリーンは30・35玉中心となる見込み。「サンゴールド」は4~10月、グリーンは5月~翌年1月まで。

## ◎ブルーベリー

主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
静岡 (58%) 3部	丸浜柑橘	生産者・生産面積ともに増えている。生育が良く順調な出荷となり前年以上の出荷が3月から続いている。4月の出荷も多く、週間の販売数量は800~1,000ケースとなる。
愛媛 (20%) 3部	えひめ中央	3月中旬から販売が始まり、前年より早い出荷ペース。前年の3倍の出荷量になり4月の販売量も引き続き多い。
愛知 (5%) 3部	蒲郡市	生育順調で出荷は週1~2回となり前年より多くなる。

## マンゴー情報

販売見通し	主力の宮崎産は前年より生育早く、3月初めから京浜市場での販売開始となった。前年と比べて増量ペースも早く、4月に向けて日々の販売量も多くなっていく。早めに数量が増えてくることで3月末には販売しやすい価格に落ち着き、4月中は保合いでの推移となろう。早い時期から売り込みやすい価格帯となることで、数量が増えて需要期となる『母の日』に向けての売り込みも活発化。荷動きは良い見込み。	
主産県	銘柄及び産地	主産地の生育及び出荷・入荷情報
宮崎 (96%) 4部	宮崎中央 はまゆう ほか	前年と比べれば2週間程生育早い。当初見込みよりは初荷遅れたが、これから4月にかけて出荷の始まる農協もあることから日々の入荷量も順調に増えてくる。中心サイズは2L。4月8日からは特選品『太陽のタマゴ』も販売解禁となる。前年より1週間以上早いですが、生育の前進具合からするとゆっくり出せるので、合格率も高くなりそう。4月後半に一度ピークが来る見込み。
鹿児島 (4%) 4部	そお 鹿児島 ほか	生育は順調で3月26日から京浜市場での販売開始。前年と比べれば2週間近く早い。生産者数は前年と変わらないが、生育が早めなので数量がまとまってくるのも早く、シーズン前半の出回り量が多めとなる一方で、後半は減り込みが早まるかもしれない。特選品の『夏姫』も4月中旬からの出荷開始予定。